

平成28年度 京都府立北嵯峨高等学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン) (計画段階)

学校経営方針	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
<p>「独創質実(何事も自ら考え、主体的に判断し、真摯な態度と素直なこころで行動する。)」の校是の下、高校生活の限られた時間の中、集中力と工夫により学習と部活動の両立を实践し、「人を育て、心を育む」教育を目指す。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 規律ある生活により、学力・体力・情操の向上を図る。 2 科学的認識を養い、創造性と実践力を育てる。 3 保護者・地域との連携を深め、生徒の進路についての願いを実現することに努める。 4 地域の歴史と文化遺産に対する理解を深め、その文化を守り育てる力を養う。 	<p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 保護者・学校評議員への授業公開や、全ての生徒・保護者アンケートの実施等により、開かれた学校づくりを進めた。 (2) 生徒指導部と学年部等の連携により、生徒は全体的に落ち着いた学校生活を送っている。 (3) 教育相談会議を定期的に開催し、教職員の共通理解のもとに、生徒の現状と今後の指導の在り方について検討した。 (4) ホームページを高い頻度で更新し、大変多くの活動について情報を提供した。 <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 進路希望実現 (2) 生徒の基礎学力定着と自学自習の育成 (3) 教科指導の向上と授業の工夫改善 (4) 交通安全意識の向上、(5) 特別支援への理解と支援体制 (6) 地域の自然、歴史、伝統文化等の教育資源を活用 	<p>[チーム北嵯峨]の「学校力」醸成</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教職員が連携協力してさまざまな教育活動を担い、「入学したい学校」の実現に努める。 (2) 幅広い学力の生徒に対する個に応じたきめ細かい進路指導を行い、希望進路の実現を目指す。 (3) 学習環境(授業規律の確保と整然とした教育環境)の整備に努めるとともに、学習意欲の向上と思考力、判断力、表現力の育成を目指して授業内容の改善、充実を図る。 (4) 学習と部活動の両立と基本的な生活習慣の確立により総合的な「人間力」の育成を目指すとともに、部活動の一層の充実・発展と全体加入率および定着率の向上を図る。 (5) 配慮を要する生徒(LD、ADHD、高機能自閉症等)へのきめ細やかな教育相談・特別支援教育を推進する。

評価領域	重点目標	具体的方策	No	評価	成果と課題
学習指導	◇教科指導力を向上させる。	◆指導と評価の一体化を踏まえながら、基礎基本を徹底し、学力を充実させる授業の工夫改善に努める。	1		
	◇特別支援教育を充実させる。	◆教職員の目線を合わせ、合理的配慮の提供に努め、特別な支援を要する生徒を適切に指導する。	2		
生徒指導 特別活動	◇愛校心を育成し基本的な生活習慣を身につけさせる。	◆制服の正しい着用を通じて、本校生徒としての自覚と誇りを養うとともに、基本的な生活習慣の定着を図るために教職員が一致して指導する。	3		
	◇交通規則の遵守と交通安全に対する意識を高める。	◆関係各団体と協力し、交通規則の遵守と、自転車の交通マナー向上や交通安全に対する生徒の意識向上を図る。	4		
	◇生徒の自主性・社会性を育成する。	◆生徒会や部活動が中心となって、地域への奉仕活動を進め、社会性やボランティア精神を育成する。	5		
進路指導	◇希望進路の実現に向けて進路指導を行う。	◆学年部・教科担当者・部活動顧問が個々の生徒の学力状況・学習状況を把握し、3つの方向からの指導により、学力の向上と進路希望の実現を図る。	6		
		◆キャリア教育を充実し、生徒個々の進路意識の定着を図るとともに、就職率100%、大学進学率70%などを目標に個に応じた進路指導を充実させる。	7		
人権教育	◇人権問題を正しく理解させ、いじめの根絶を図る。	◆あらゆる教育活動に人権の視点を入れ、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決や、いじめ等の未然防止のための態度を育成する。	8		
健康・安全 教育	◇配慮を要する生徒に対して適切な支援を行う。	◆保健部と担任や教科担当と情報の共有を図り生徒の状況を適切に把握し、教育相談会議等を活用して、配慮を要する生徒への支援を適切に行う。	9		
	◇教育環境づくりを推進するとともに、環境保護の意識を高める。	◆日々の清掃活動を徹底し学校の環境整備するだけでなく、環境保護の意識向上に向けて生徒も教職員もゴミの分別を徹底する。	10		
図書館指導	◇図書館メディアを充実し、時代の要求に対応した図書館を目指す。	◆教科と連携して、読書活動の推進や視聴覚教材の充実を図る。	11		
安全管理 情報・文書	◇学校の危機管理体制を強化する。	◆全教職員が学校の危機管理対応について理解を深め、生徒の安心安全に適切な対応ができるようにする。	12		
	◇学校の情報管理体制の充実を図る。	◆生徒の多様な個人情報適切に管理し、学校の情報管理体制の充実と教職員のセキュリティ意識の向上を図る。	13		
家庭・地域 社会との連	◇広報活動を更に充実し、速やかな情報提供を図る。	◆各中学校との連携を深め、HPの積極的な更新等広報活動をさらに充実させ、信頼される学校づくりを進める。	14		
	◇地域に信頼される学校づくりを進める。	◆学校評議員、学校関係者評価委員、PTAとの連携を深め、地域に開かれた学校づくりに努める。	15		
学校関係者 評価委員会 による評価					
次年度に向 けた改善の 方向性					